

ハイサイ！ どの地域でも長寿を願い、特に百歳が近づいてくると、盛大なお祝いが行われるようです。

沖繩では旧暦9月7日

になると、数え97歳をお祝いするカジマヤー（風車祝い）という行事が行われます。これは、私たちがこの世に誕生した節目としてお祝いされるトゥシビー（生まれ年）の行事の中でも、とてもにぎやかでめでたいお祝いでもあります。

もともと、長寿にまつわる行事は、その年齢が高くなるにつれて、家族や親せきだけでなく、多くの方が

その長寿にあやかうろうと、地域をあげて盛大なお祝いを

みんなで幸せ分かち合う

になることが多いようです。このお祝いの名前にもなっているカジマヤーとは風車のことで、多くの人生経験をつんだお年寄りは、心も小さな子どものように純粋になり、それはまるで子どもが風車を持って遊んでいるような感じに近い

という例えから、このお祝いをカジマヤーと呼ぶようになったのではないかとわれています。

カジマヤーでは、この風車をお祝いされる本人はもちろん、出席してくださった方々にも配る地域もあり、幸せをみんなで分かち

た話なのですが、人間は両親からいただいた体の細胞が無くなると、病気になるりやすいのだとか。広い意味でこの数え97歳のころに、体調を崩される方が多いので、健康に気をつけましょうの行事が、今では逆にお祝いする行事に変わっていったようでもあります。

合おうとする沖繩らしさがとてもよく表現されているお祝いでもあります。イッペー チビラーサン（とても素晴らしいですね）！

また地域によっては、交差点（十字路）のことをカジマヤーということから、97歳の長寿の方を案内して、この交差点を歩いてもらったことにも関係するのではないかと方もおられるようです。

そうですね、どうせ行事を行うのなら、プラス発想でお祝いする方が、本当の長寿にあやかれるような気がしますものね。ワラビーっ子のみんなも、もし身の回りにおじいちゃんやおばあちゃんがいいたら、いろいろとわからないことを聞いてみていいかもしれません。お年寄りは、沖繩の宝物ですものね。

（帰依龍照球陽寺住職、タイムスカルチャーセンター「基礎から学ぶ沖繩の年中行事」講師）



あるお医者さんから聞いた話なのですが、人間は両親からいただいた体の細胞が無くなると、病気になるりやすいのだとか。広い意味でこの数え97歳のころに、体調を崩される方が多いので、健康に気をつけましょうの行事が、今では逆にお祝いする行事に変わっていったようでもあります。